2019年1月号

五反田
伊住　希恵（きえ）さんの巻
長男　晴生（はるき）くん（8歳）
次男　真輝（まさき）くん（7歳）
三男　新希（あらき）くん（4歳）

　わが家は、男３人の三兄弟です。よく「大変でしょ？」とか、「男の子のお母さん尊敬する～」など声をかけてくださることがあり、「そんなことないですよ～」と言うとこなのかもしれませんが、家の中の移動はなぜかダッシュだったり、静かに遊んでると思いきやボールが飛んできたり、相撲やプロレス？が始まったり、絵に描いたような三兄弟の映像が流れてくるので「・・にぎやかです」と答えるのが、精一杯な私です。
　でも、この子達には感謝しています。県外から嫁いできた私は、知り合いもいなく、なかなか人と話す機会がありませんでした。しかし兄弟が増えるにつれ、同じようなお子さんを持つお母さんと知り合えたり、学校や保育所のお母さん方、地域の方に声を掛けていただき、話すきっかけをくれたのは、三人がいてくれたからです。
　賑やかなわが子を怒ってしまうことも多々あり、その度に思い出し、心あらためていることがあります。それは、『子供は自分のものではなく、神様からのあずかりもの』ということです。私たちは、育てる役目をいただき、親にならせてもらっているのかな、と思います。親になったことで、もちろん大変なこともありますが、かわいい笑顔をみせてもらえたり、学校や保育所の行事を一緒に楽しめたり、子どものおかげで親になり、親になれたことで経験できることがたくさんあります。そういう気持ちを思い出し反省し、私自身まだまだ勉強中です。
　ここまで子ども達が大きく成長できたのも、祖父母や親戚、保育所・学校の先生方、地域の方、たくさんの方々のおかげです。感謝の心を忘れず、ひとさまにお返しできるような大人に。そしてずっと兄弟仲良くたすけあってほしいです。